

講師 伊藤春海先生ご来場！

胸部X線を読み解く会(通算第25回)のご案内

疾患は正常を基盤として展開する。正常構造の概念化でのみ、疾患が引き起こす変化と機序が考察可能となる。

Mr. Chestとは、胸部X線画像の概念

伊藤春海

RAP-C

Radiologic Anatomic Pathologic - Correlation

放射線医学(R)・解剖学(A)・病理学(P)の情報を比較・検討し、個々の事象の気付きを積み重ね、新しい総論・新しい課題を導くCorrelationという作業を通して、螺旋状の進化を実現すること。

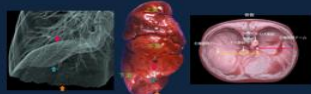
<第一胸椎>

- > 脊椎の生理的湾曲と撮影体位の前傾により、椎体・椎間孔は描出されない。
- > 椎弓と椎弓板間隙がコントラストを得て横突起の両端が跳ね上がりW字様形態を得る。



<右肺下縁のコントラスト>

- > 右肺下縁は頭側から、①横隔膜ドーム、②肺下縁腹側、③肺下縁背側の3つのコントラストを持つ。
- > 右の腹側肺下縁内側は中葉がコントラストを作る。



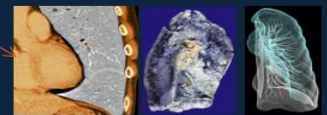
<左肺動脈>

- > 左肺動脈は、左上気管支を腹側から頭側に乗り越え、左上葉気管支の背側を通り、左下葉気管支の外側に沿って尾側に向かう。



<左心陰影>

- > 左心陰影は、上葉でコントラストを得る。
- > 左心影に重なる肺血管影は下葉血管である。



日時 2024年 8月 3日(土) 13:30~16:00

会場 済生会熊本病院 外来がん治療センター4階コンベンションホール

テーマ 呼吸器の画像診断 (RAP-C)

Part1. 肺の各既存構造間の関連を知る

Part2. それを基礎に、正常~異常画像を理解する

講師 福井大学名誉教授

岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授

伊藤 春海 先生

参加費 医療従事者:2,000円/医学生:無料

申込QRコード 【医療従事者 専用】

※Peatix(イベント管理ツール)よりお申込、参加費のお振込をお願いいたします。



締切
7月29日(月)

【医学生 専用】

※医学生、学生の方はこちらからお申込ください。



締切
7月29日(月)

【参加者アンケートより】

- ・肺胞の構造として多面体であることや肺胞の周囲には多くの血管があることを実際にみて知ることができました。
- ・肺胞と思っていたものが実は見えないもので、肺胞道であったということ。肺胞道というものがあることも初めて知りました。
- ・すりガラス陰影に至る前に母体となるサインがあったり、動脈の太さが変わることを知ることができた。

研修会・講師のご紹介

【本研修会について】

本研修会は、胸部X線読影の基礎を学ぶ研修会として2010年11月より伊藤 春海 先生（福井大学名誉教授、岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授）を講師にお招きして開催しています。

全ての医療従事者、医学生の皆さんを対象とする研修会です。

これまで医師、看護師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、臨床検査技師、管理栄養士、救急救命士と多くの職種の方が参加されています。

胸部X線読影について、ここでしか学べないことがあります。

今回は久しぶりの対面形式での開催です。

これまで参加された方も初めて参加される方も、ぜひご参加ください！

【なぜ胸部X線読影なのか】

- 将来の専門に関わらず、**医師にとって必須！**
かつ、X線読影は医師だけのものになってきており、医師には、**さらなるX線読影力の向上**が求められる。
- 認定看護師の教育カリキュラムにも取り入れられるなど、**医師以外の間でもその必要性が高まっている。**



【講師のご紹介】

福井大学名誉教授、岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授

伊藤 春海 先生

伊藤先生は世界的に著名な胸部放射線科医です。

各地で読影の研修会を開催されるなど、教育活動にも熱心に取り組まれています。

セミナーでは、解剖構造に基づくX線所見の理解と読影のポイントを教えていただきます。

【会場のご案内】

